



報道機関 各位

イオンモールと共同開催「農業体験ウォーキング」

## 東久留米市の特産「柳久保小麦」を体験しよう！

～東久留米市地域産業推進協議会、イオンモール東久留米共催

東久留米市でのみ栽培されている特産「柳久保小麦」を知っていますか？

このたび、小麦生産量都内1位を誇る、東久留米の小麦に触れて、作って、食べるウォーキングツアーを次のとおり開催します。農業者が守り継いでいる「柳久保小麦」を、体験を通して知って頂けるイベントです。

取材をご希望の場合は、事前に市産業政策課にご連絡をお願いします。

**【日時】** 11月24日(日) 午前9時～午後1時半ごろ

※小雨決行、荒天の場合は11月30日(土)に延期します。

**【参加対象】** 東久留米市の農業や農作物に興味があり、徒歩で約4キロメートル歩ける方

**【定員】** 42人(定員に達したため募集は終了しました)

### 【柳久保小麦とは】

嘉永三年(1850年)、現在の東久留米市柳窪の奥住又右衛門(またえもん)が、旅先から持ち帰った小麦の種を柳窪の土地に適した小麦に品種改良し生まれたと言われています。丈が高く太いのが特徴で、粘りが強く、香りや風味に優れていたため、うどん用の小麦として大変評判となりました。90年ほど栽培が続けられていましたが、丈が高く倒れやすく量産が困難なため、戦時中の食糧増産施策により1940年代初めに姿を消し、「幻の小麦」となりました。

しかし、昭和63年(1988年)、奥住又右衛門の子孫の熱意により見事復活を果たし、伝統小麦を守り継ぐため、市内の農業者が協力して現在も栽培を続けています。



柳久保小麦

※詳細は別紙をご覧ください。

### ■問い合わせ先

産業政策課長 島崎(担当:森本・武井)

電話042・470・7743

東久留米市企画経営室秘書広報課 斉藤  
TEL042-470-7712 Fax042-470-7804  
E-mail: hishokoho@city.higashikurume.lg.jp

湧水の妖精  
るるめちゃん

東久留米市地域資源PRキャラクター



幻の小麦!

東久留米市の特産

## 「柳久保小麦」を体験しよう!

### 当日のスケジュール

参加料  
無料

9:00	イオンモール東久留米 集合
9:15	イオンモール東久留米 出発
9:35	①柳久保小麦種まき体験 開始
10:10	①柳久保小麦種まき体験 終了
10:35	②ヒンメリ作り (南町地区センターにて) 開始
11:30	②ヒンメリ作り 終了
11:45	③中谷製菓直売所立ち寄り
12:05	③中谷製菓直売所出発
12:20	④タネニハガーデン (秋田緑花農園内) 着
12:50	④タネニハガーデン 発
13:10	イオンモール東久留米 着 市内産野菜をふんだんに使った「煮いだんご」試食

※13:30終了予定。  
※時間はおおよその目安となります。

東久留米市でのみ栽培されている「柳久保小麦」を知っていますか?  
戦時中に栽培が途絶え一時は「幻の小麦」となりました。  
農業者の熱意により復活し、現在でも伝統小麦は守り継がれています。  
小麦生産量都内1位を誇る、東久留米の小麦に触れて、作って、食べる  
ウォーキングツアーを開催します。是非ご参加下さい!

日程 令和元年11月24日(日)  
(小雨決行。荒天の場合は11月30日(土)に延期になります。)

時間 9:00~13:30頃

集合場所 イオンモール東久留米 公園側D出入口

解散場所 イオンモール東久留米

参加資格 東久留米市の農業や農作物に興味があり、  
徒歩で約4km歩ける方。  
小学生以上 (小中学生は保護者同伴)

定員 先着40名さま ※定員に達し次第終了

ツアー  
特典

作ったヒンメリのお持ち帰りや、柳久保小麦と市内産野菜を  
ふんだんに使った「煮いだんご」などを提供する予定です。



満水の妖精  
るるめちゃん

東久留米市地域資源PRキャラクター

### お申込み方法

電話申込

東久留米市産業政策課 ☎042-470-7743

申込受付期間▶ 令和元年10月7日(月)~11日(金)

※8時30分~17時00分まで(12時~13時を除く)

【共催】東久留米市地域産業推進協議会・イオンモール東久留米

【事業協力】柳久保小麦の会・東久留米ヒンメリの会・中谷製菓株式会社

秋田緑花農園~タネニハ~・東久留米発!農家の煮いだんご推進委員会・イオン東久留米店



※ルートは変わる可能性がございます